

# 令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

## ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	一般社団法人 アマービレフィルハーモニー管弦楽団
公演団体名	一般社団法人 アマービレフィルハーモニー管弦楽団

### 内容

※感染症対策として、時間短縮やマウスシールド利用・飛沫対策シートの設置等学校様のご希望に応じて対応可能

- オーケストラで使用する楽器の仕組みや特徴を実演を伴い解説する。
- 演奏者によるミニコンサート。
- 本公演「リズムの効果体感コーナー」で共演する為のリズム講座。ジャンルや曲によって異なるリズムパターンの違いなども併せて実演を伴い解説する。
- リズム講座を踏まえ、シンプルなリズムを使って共演。

### タイムスケジュール（標準）

※感染症対策として、実施時間については柔軟に対応可能

- ・開演約2時間前到着
- ・準備、リハーサル 同時に本公演へ向けて打合せ、下見
- ・ワークショップ
  - 前半 40分
  - 団体紹介・演奏者とその楽器の紹介(実演を含んだミニコンサート形式)
  - オーケストラとは？
  - 休憩 15分
  - 後半 35分
  - 本公演のリズム体験のための予備講座「リズムの楽しさとそのチカラ」
- ・終演後約30分後撤収

### 派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

演奏者4名、スタッフ1名を派遣。

### 学校における事前指導

とくになし

# 令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

## 本公演実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	一般社団法人 アマービレフィルハーモニー管弦楽団
公演団体名	一般社団法人 アマービレフィルハーモニー管弦楽団

演目
<p>※感染症対策として、時間短縮、複数回公演可能。 マウスシールド利用・飛沫対策シートの設置等学校様のご希望に応じて柔軟に対応。 感染症対策を学校と協議したうえで《ヴァイオリン体験》か《出演者への質問コーナー》を選択していただく。</p> <p>①ロッシェニ／ウィリアムテル序曲 より スイス軍の行進 (3分) ②グリーグ／ホルベルク組曲 より プレリュード (4分) ③山田耕筰・北原白秋／からたちの花 (声楽独唱) (4分) ④ラヴェル／クーランの墓 より メヌエット (木管五重奏版) (3分) ⑤リズムの効果体感コーナー～バッハ／管弦楽組曲第3番 より 第2曲「アリア」を使って～ (6分)</p> <p>休憩 15分</p> <p>⑥指揮者体験コーナー～ビゼー／カルメン より 「前奏曲」を使って～ (8分) ⑦物語と音楽～チャイコフスキー／くるみ割り人形～ (20分) ⑧校歌をオーケストラで歌おう(聴こう)【コロナ禍における対応として、子どもたちが歌うかどうかは学校側と協議のうえ選択していただきます】 ⑨ヨハン シュトラウス2世／美しく青きドナウ (7分) アンコール ヨハン シュトラウス／ラデツキー行進曲 (3分)</p> <p>終演後 バイオリン体験もしくは質問コーナー 児童・生徒の数にもよるが10分程度を予定。</p>

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
<p>○奏者 20名 ○スタッフ 4名 指揮者 1名 うた・司会・語り／1名 管弦楽／一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団 フルート1名、オーボエ1名、クラリネット1名、ファゴット1名、ホルン1名、トランペット1名、トロンボーン1名、打楽器奏者1名 ヴァイオリン5名、ヴィオラ2名、チェロ2名、コントラバス1名</p>

### タイムスケジュール（標準）

※感染症対策として、時間短縮や複数回公演対応可能

- 到着 9時00分
- 仕込み 9時00分～10時00分
- ゲネプロ 10時00分～11時00分
- 公演 13時30分～15時00分
  - 前半 約30分
  - 休憩 約10分～15分
  - 後半 約45分
  - 終了後 バイオリン体験又は質問コーナー 約10分
- 撤去 15時00分～16時00分
- 退出 16時00分

### 実施校への協力依頼人員

※感染症対策として児童生徒挨拶など省略可能

- リハーサル時のチェックをしてくださる先生 1名
- 注意事項をお話くださる先生 1名
- 指揮者体験 児童生徒 2名
- 児童生徒あいさつ 1名
- 消毒、整列、児童生徒の管理人員（規模により人数は変動）

### 演目解説

※感染症対策として短縮可能。短縮プログラムについては応相談

- ロッシーニ／ウイリアムテル序曲 より スイス軍の行進  
まずは華々しい金管楽器のファンファーレから始まる軽快で迫力のある曲で幕開けします。
- グリーグ／ホルベルク組曲 より プレリュード  
2 曲目からは前半全体を通して、オーケストラの基本となる弦楽器から順番に楽器を紹介しながら進めていく形になります。まずは弦楽器の紹介の後、弦楽合奏の代表的な作品であるこの曲から。  
●山田耕筰・北原白秋／からたちの花（ソプラノ独唱）  
3 曲目は、普段音楽の授業でも子どもたちが行っている「うた」の紹介。歌唱も演奏家になるとこんなに違うものであると思っていただくと共に、日本人作曲家の作品を取り上げる事で、日本語であるがゆえにその歌詞の素晴らしさ、国内音楽作品の素晴らしさが伝わります。
- ラヴェル／クーブランの墓 より メヌエツト  
弦楽、歌と紹介した後は、木管楽器で室内楽の形式も併せてご紹介します。木管楽器のアンサンブルは、発音システムが同じである弦楽合奏とは違い、それぞれが違う発音システムを持つ楽器の、言わば異種格闘技のような魅力があります。この個性のぶつかりが生み出す音楽がオーケストラにこの後どのように作用するのかに注目していただきます。
- リズムの効果体感コーナー～バッハ／管弦楽組曲第3番 より 第2曲「アリア」を使って～  
管楽器と打楽器の紹介をした後、弦楽器のみで通常演奏される「G線上のアリア」を原曲でまずは聴いていただき、それから曲の進行と共に徐々に「リズム」「管楽器」を順に加え編成を大きくしていき、最終的に静かな曲でもいろんな楽器が加わる事でこんなに華やかな演奏になる、という編曲を施してあります。挿入するリズムは MC と打楽器奏者が導き、子どもたちにも手拍子で参加していただき、会場全員参加型の演目となります。

- 指揮者体験コーナー～ビゼー／カルメン より「前奏曲」を使って～  
指揮者によるレクチャーの後、子どもたちに実際に指揮者となりオーケストラを指揮していただきます。2名を予定しています。
- 音楽のちから体感コーナー～チャイコフスキー／くるみ割り人形～  
ここで演奏するのは以下となります。
  - ①小序曲
  - ②行進曲
  - ③くるみ割り人形とネズミの戦い
  - ④トレパック
  - ⑤葦笛の踊り
  - ⑥花のワルツチャイコフスキーが残した名楽曲を知ると共に、感情を乗せて聴いていただく事で子どもたちに音楽がもたらす効果について認識していただく事ができます。チャイコフスキーがどのような場面を表現しようとして書いた音楽なのか、を意識して聴いていただきます。
- 校歌をオーケストラで歌おう(聴こう)  
普段慣れ親しんでいる校歌を、オリジナル編曲で子どもたちと一緒に演奏します。コロナ対策方を学校側と協議し、最適な方法で演奏します。
- ヨハン・シュトラウス 2 世／美しく青きドナウ  
プログラム最後には、一曲でありながら様々な旋律のワルツが繋がって演奏される「美しく青きドナウ」で締めくくります。目まぐるしく旋律と楽器が入れ替わるので、最後まで興味を持って聴いていただく事ができるでしょう。

### 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

- ※感染症対策として歌手司会のマウスシールド、飛沫防止シートの設置等対応可能。  
歌唱については教育委員会等の指針に沿いオーケストラ演奏のみとするなどご相談に応じます。実施時期の状況に応じて都度対応可能。
- リズムの効果体感コーナー／上記にもあるように、2022 年度の新型コロナ感染症対策がどのように変化しているかを考慮した上で、歌唱やリコーダーを伴わず、手拍子での参加を効果的に練った演目となります。参加者に演奏していただくリズムパターンはワークショップを含め本公演内でも当団演奏者がレクチャーし、本公演に於いても前に立ち先導してより一体感をもって参加していただけるよう練ってあります。曲の進行と共に編成も大きくなりリズムの効果が高まるよう編曲を施してあります。
- 校歌／実際に歌うかどうかは各学校で対応が変わると思いますので、距離を開けて歌う、マスクをしたまま歌う、口を開けずハミングで歌う、聴くのみとする、等、協議の上で実施方法は選択していただきます。
- 指揮者体験コーナー／指揮者の実演と指揮解説とレクチャーを行った後、実際にオーケストラを指揮していただきます。2名を考えておりますが、体験者の選考方法や人数は学校側のご要望に柔軟に対応させていただきます。
- ヴァイオリン体験コーナーOR 質問コーナー／感染症対策の観点から、各地域や学校によって対策の対応観念に違いがあると思いますので、実際に本物のヴァイオリンに触れて子どもたちに音を出していただくか、児童・生徒から楽員に向けた質問コーナーにするかは選んでいただきます。

## 児童生徒とのふれあい

※感染症対策として体験活動の内容、体験人数等都度対応可能。

教育委員会のガイドラインに沿った対策を行います。

- リズムの効果体験コーナー

奏者とともに曲に参加することで一体感を得ることができます。

- 指揮者体験コーナー

代表児童生徒へ指揮者が直接レクチャー。

児童生徒の指揮で実演します。

- ヴァイオリン体験コーナーOR 質問コーナー

奏者が指導し実際に本物のバイオリンに触れていただくことができます。

児童生徒からの質問に直接奏者がお答えします。